

## まえがき

今回のコンペへの参加の理由は、「都市や都会の道路には、果たして、緑ってあるのか？」という、疑問があるからでした。公園や広場での緑ではなく、道の緑です。あるとしても、それは、何の為のものか、その目的や役割が、希薄である様に思えます。おそらく、「景観を良くする、美観を向上させる、季節感を与える」というレベルのもので、画一的で、修景や装飾的なものが主流ですね。

街路樹の歴史は、フランスで、ナポレオンが、軍事的な目的（行軍で使用する馬車や荷車の修理や、兵士や馬の休憩場所）に道路の両脇に樹木を列状に植栽した事が発祥となり、現代まで普及してきたと言われています。街路樹の始まりは、実用的な目的でした。急速に地球温暖化が進む現代社会において、都市部の道路空間を最大限に活用した、道路緑化のあり様を再考し、発想の転換が求められていると考えます。

## ミュージアムロードアイデアコンペのテーマとその概要

こんなミュージアムロードにしたい！！

- 世界に誇れる、日本の水緑文化を継承し、さらに高めることを目的とした、新しい道路としたい
- その為には、10年～20年後と言わず、100年後の姿を見据えた空間づくりを目指したい
- 新しいミュージアムロードの姿と考え方が、全国の都市に普及してゆく出発点（先進事例）としたい
- 都市の中に緑があるのではなく、緑の中に都市がある神戸の姿を、大震災後復興のシンボルとし、都市の砂漠化を防ぎたい

その為には...

- ミュージアムロードの別名を「原始の巨木が棲む通り」としたい
  - 従来型の車道の両側で建物に近い場所ではなく、車道の中央部に巨木となる街路樹を植えたい（ピッチ30Mで）
  - 選定樹は、限られた道路空間にあって、横に伸びる樹木ではなく、空に向かって伸びてゆく「ホーキポプラ」か「ユリノキ」か「メタセコイヤ」、「ムサシノケヤキ」の中から選びたい
- ここでは、メタセコイヤを選び、提案を展開する。
- 街路樹の維持管理費と建設費の軽減化を図りたい（街路樹は、盆栽ではない。剪定、枝切不要）
  - 街路樹整備の社会実験としての取り組みとしたい



### 樹高世界一

ジャイアント・セコイヤの中で一番大きな木はジェネラル・シャーマン・トゥリーと名づけられています。

カリフォルニアのシエラネバダ山脈の西側標高 1500メートルから 2400メートルの間に 75 の森を形成して分布しています。



メタセコイヤ（和名：アケボノスギ）  
「わが国のたちなほり来し年々に  
あけぼのすぎの木はのびにけり」  
昭和天皇

推定樹齢	2,300～2,700年
推定重量	1,385トン
樹高	83.8メートル
根元直径	11.1メートル
根元周囲	31.3メートル
最大枝直径	2.1メートル
推定体積	1486.6平方メートル
推定樹皮厚さ	70センチメートル
根の深さ	1メートル
根の広がり	30メートル



### 樹幅世界一

トゥーレの巨木は、メキシコシティから南西に飛行機で約1時間にある、オアハカ州の州都オアハカから15キロメートル北西部エル・トゥーレ村にあります。メキシコ人の間でアウエウエテと呼ばれ親しまれています。メキシコ固有の樹です。

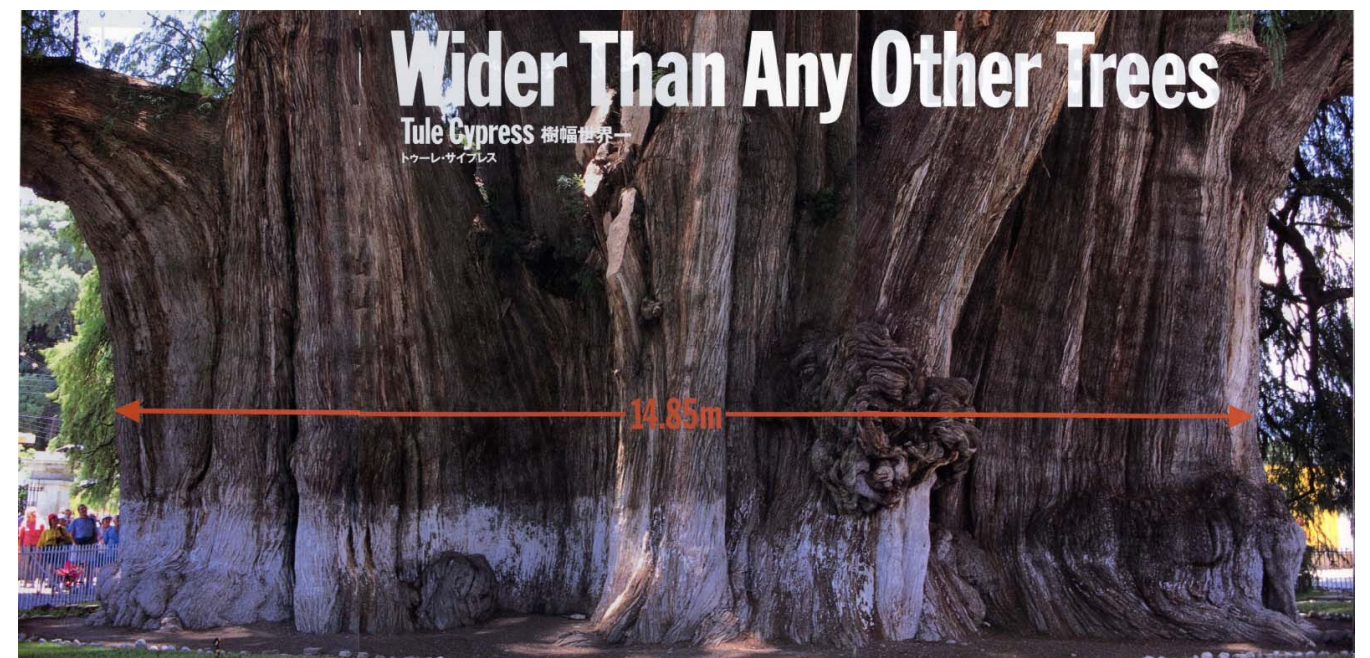
根元樹幅 14.85メートル

根元周囲 57.9メートル 樹高 42メートル

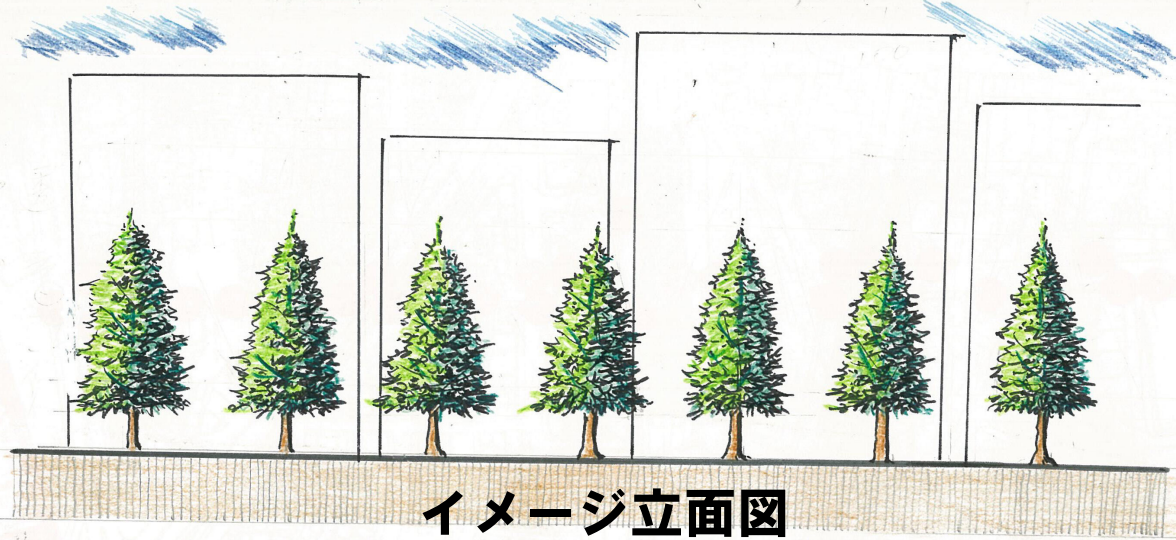
推定体積 816.829立方メートル（幹のみ）

推定重量 636.107トン 推定樹齢 2,000年

※ANA 翼の王国 1997年10月号 より



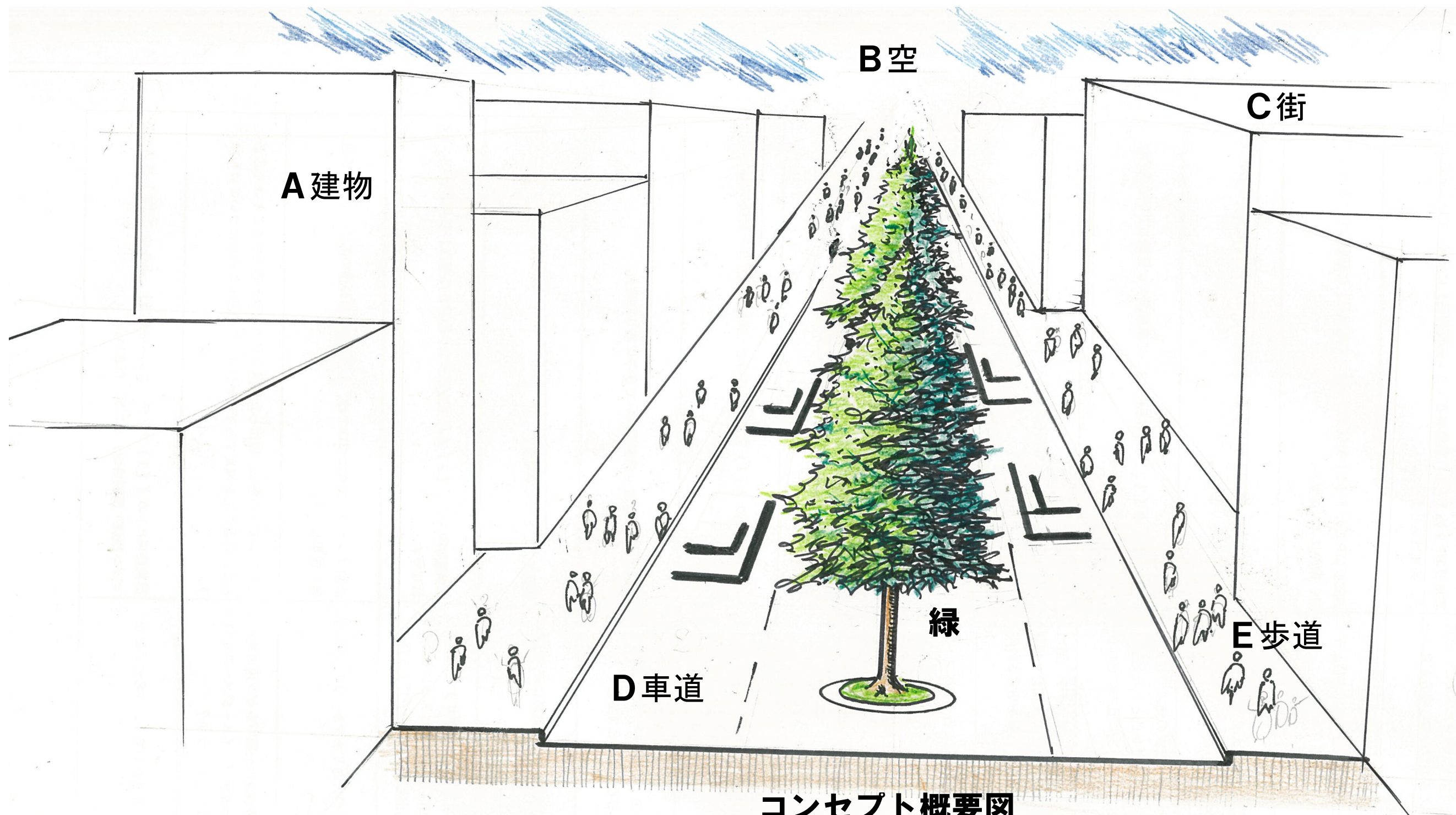
# 原始の巨木が棲む通り計画図



イメージ立面図

イメージ  
シュミレーション





**コンセプト概要図**  
**緑が核となる、A B C D E の調和**

● **その他の様々な取り組み**

- ① 旗日(祝祭日)は、歩行者天国にしたい
- ② ミュージアムロードの歌も作りたい
- ③ すべての樹木に名前をつきたい
- ④ 地域参加の落ち葉かきイベントをしたい
- ⑤ メタセコイヤの説明板を設置したい
- ⑥ 気温と湿度計の設置と観測もしたい
- ⑦ 樹木の体格測定を毎年したい
- ⑧ 歩道と車道は透水性舗装としたい
- ⑨ 歩道には蓄光材を埋め込みたい
- ⑩ 環境教育や学習にも活用したい
- ⑪ 北の動物園と南の海岸部にも緑化を拡張したい
- ⑫ 継続的情報発信をしたい
- ⑬ 玉子動物園には、植物園と川の水族館も導入したい